

### ③ 電動商用車活用・エネマネ検証

項目	内容
取組内容	支線配送における電動商用車活用を見据えたオペレーションモデル/経済性可視化手法の検証を実施
取組意義	電動車活用による環境負荷の低減
目的	<p>【阻害要因】 航続距離を加味したルート設計や安価な電力使用等、電動車両に適した運用方法が分からない</p> <p>→ <b>安価な電力利用モデル及び経済性可視化手法の構築による電動車普及促進の実現</b></p>
期待効果	<p><b>対荷主</b>：荷主としてのCO2排出量削減による<b>環境対応拡大・ESG投資呼び込み</b></p> <p><b>対運送事業者</b>：高い静粛性による<b>幅広い配送ニーズへの対応</b>／損益分岐点（台数）可視化や安価な電力の活用等によるTCO(*1)最小化を通じた、<b>電動車導入ハードルの引下げ</b></p> <p><b>商用車OEM</b>：電動商用車台数増による<b>スケールメリットの享受</b></p>
アウトプット	商用車の電動化の経済性の検証及びその向上による電動車の普及拡大
取組体制	荷主、運送事業者、電力会社、商用車OEM
取組イメージ	<p><b>青字：取組項目例</b></p> <p>(1) 安価な電力の効率的な活用を実現する時間帯別等の充電・運用モデルの構築</p> <p>(2) 非電動商用車の推定燃費・ライフタイムでのメンテナンス費用等との比較による電動商用車経済性の可視化</p> <p>(3) 電動車での持続的支線物流サービス実現に向けた、配送ルート特性・航続距離・積載率・季節性等を考慮した電力消費量と充電拠点情報に基づくオペレーション成立性検証（最低投入台数、各種設備配置等）</p>

\*1 Total Cost of Ownership：イニシャル・ランニングを含めた総保有コスト